

# 学芸員コース

## 学芸員コースページマップ

検索内容	記載事項	参照ページ
学芸員資格とはどのようなものですか？	I 学芸員コースについて 1 学芸員とは	86 ページ
学芸員コースを履修するには、どの学部・学科（専攻）に所属すればよいですか？	I 学芸員コースについて 2 入学形態について	86 ページ
科目履修生でも学芸員コースは履修できますか？	I 学芸員コースについて 2 入学形態について	86 ページ
学芸員資格を取得するためには、どのような条件を満たす必要がありますか？	I 学芸員コースについて 3 学芸員資格取得の要件	86 ページ
学芸員資格の取得のためには、どの科目を履修すればよいですか？	II 学芸員資格取得に必要な科目 1 必修科目 2 選択必修科目	88 ページ
博物館実習は、どのような内容ですか？ また、どのように受講すればよいですか？	III 博物館実習について	89 ページ
学芸員資格取得までの全体的なスケジュールはどのようになりますか？	IV 学芸員資格取得までの流れ	92 ページ

# I

## 学芸員コースについて

### 1 学芸員とは

学芸員は、博物館資料の収集・保管・展示及び調査研究、その他これと関連する専門的事項を業務とします。したがって、専門職員として博物館などの業務に携わるためには学芸員の資格が必要となります。

### 2 入学形態について

#### ① 履修できるのは正科生のみ

学芸員コースを履修するためには、本学通信教育部の正科生として入学することが必要です。  
したがって、科目履修生は学芸員コースの履修はできません。

#### ② 入学する学部・学科（専攻）について

学芸員コースは、正科生であればどの学部・学科（専攻）に所属していても履修することができ、また卒業所定単位の一部に算入することができます。

ただし、資格取得に必要な履修科目内容の特性から、文理学部史学専攻で履修されることが最も適しています。

### 3 学芸員資格取得の要件

学芸員の資格を取得するためには、次の2つの条件を満たす必要があります。

#### 学芸員資格を取得するためには…

①  
大学を卒業して、「学士」の学位を得ること。

+

②  
次項に示す〈必修科目〉及び〈選択必修科目〉の15科目36単位をすべて修得すること。

=

学芸員  
資格取得

#### ① 「学士」の学位について

学芸員資格取得の第1条件である「学士」とは、国内の大学を卒業することで得られる学位です。

したがって、本学に入学した時点で、既に大学を卒業して「学士」の資格を取得している場合には、既にこの条件は満たしていますので、本学を卒業する必要はありません。

※海外の大学を卒業し学位を得ている場合には、本学を卒業する必要があります。本学3年次編入学の条件とは異なりますので、ご注意ください。

#### ② 必要な科目の単位修得について

本学で学芸員資格取得を目指す場合には、設定されたすべての科目を本学で修得する必要があります。

たとえ、出身大学等で学芸員課程にかかる科目を修得し、本学へ編入学したとしても、単位認定等は行いませんので注意してください。

## <入学形態と本学での学芸員資格取得条件の充足>

### 【入学形態】

- ・高等学校を卒業し、本学へ1学年入学
  - ・専門学校を修了し、本学へ3年次編入学
  - ・大学を中退し、本学へ3年次編入学
  - ・短期大学を卒業し、本学へ3年次編入学
  - ・「学士」に相当しない海外の大学を卒業し、本学へ3年次編入学
- 
- ・既に大学を卒業し、本学へ3年次編入学

### 【本学で充足すべき条件】

- 本学通信教育部の卒業及び必要科目の修得が必要。
- 本学通信教育部では、必要科目の修得のみで充足。

# II

## 学芸員資格取得に必要な科目

博物館法施行規則に定める科目及び本学での開講科目は下表のとおりです。

学芸員資格取得の条件を充足するためには、以下の「必修 11 科目（20 単位）」と「選択必修 4 科目（16 単位）」の、合わせて「15 科目 36 単位」の修得が必要となります。

### 1 必修科目（11 科目 20 単位） 以下のすべての科目の修得が必要です。

試験時間割	科目コード	本学での開講科目	単位数	配当学年	試験時間割	科目コード	本学での開講科目	単位数	配当学年
1	Y20100	生涯学習論	2	2 年	3	Y20900	博物館教育論	2	2 年
2	Y20300	博物館概論	2	2 年	4	Y21000	博物館情報・メディア論	2	2 年
4	Y20400	博物館経営論	2	2 年		Y301S0	博物館実習 I*	1	3 年
3	Y20600	博物館資料論	2	2 年		Y302S0	博物館実習 II*	2	3 年
1	Y20700	博物館資料保存論	2	2 年		Y304S0	博物館実習 III*	1	4 年
2	Y20800	博物館展示論	2	2 年			合 計	20	—

\* 「博物館実習 I」、「博物館実習 II」及び「博物館実習 III」の不合格判定後の再履修は、原則として認めません。

### 2 選択必修科目（4 科目 16 単位） 以下の 8 科目の中から 4 科目の修得が必要です。

試験時間割	科目コード	本学での開講科目	単位数	配当学年	試験時間割	科目コード	本学での開講科目	単位数	配当学年
1	B11200	文化史	4	1 年	4	Y21200	民俗学	4	2 年
2	Y21300	文化人類学	4	2 年	3	Q31700	古文書学	4	2 年
3	B11400	美術史	4	1 年	4	B12300	科学史	4	1 年
1	Q30500	考古学概説	4	2 年	3	B12000	生物学	4	1 年

\* 「考古学概説」及び「古文書学」は文理学部史学専攻専門教育科目と共に通です。

\* 「文化史」、「美術史」、「科学史」及び「生物学」は総合教育科目と共に通です。

# III

## 博物館実習について

### 1 博物館実習の内容

博物館実習は、I～IIIまであり、すべて必修科目です。したがって、在学中にI～III全ての修得が必要です。各実習の大まかな内容は、以下のとおりです。

#### 【博物館実習の種類と内容】

科 目 名	主な実習内容	実習期間※
博物館実習 I	学内施設（文理学部学芸員実習室）にて、資料の取扱方法・梱包等の基礎を学ぶ。	3～4日間
博物館実習 II	都内近郊の博物館を担当教員の引率のもと訪問し、収蔵室、展示室等の見学を通して、博物館の活動や学芸員の業務について理解する。	3日間
博物館実習 III	実際の博物館で各実習先が定める実習内容（資料整理・展示作業等の補助）を通して、博物館全般にわたる理念を学び、認識を深め、学芸員としての自覚、使命感を学ぶ。	約1週間 ～10日間

※実習期間は目安です。実習内容によって若干変更となる場合もあります。

### 2 博物館実習の開講時期と実習費用について

#### 【各実習の開講時期と実習費】

科 目 名	開講時期（予定）	博物館実習費
博物館実習 I	8月（夏期スクーリング開講期間中の3日間） 3月（主に木・金・土・日曜日の4日間）	20,000円
博物館実習 II	6月、11月（主に金・土・日曜日の3日間）	20,000円
博物館実習 III	各実習先が定める日程（主に7月以降）	20,000円

- ① 博物館実習 I 及び II の開講時期・期間については、各年度の実施計画に基づいて開講しますので、『部報』又は『スクーリングの手引』で詳細を確認してください。
- ② 上記実習費以外に、見学実習等における交通費等の実費は、学生各自の自己負担となります。
- ③ I～IIIの各実習費 20,000円には、スクーリング受講料（10,000円）の他に、実習に伴う消耗品費及び保険料等の諸経費負担分（10,000円）を含みます。

### 3 博物館実習の受講資格

博物館実習Ⅰ～Ⅲを受講するためには、それぞれの受講前に以下の指定科目的単位を修得しておく必要があります。指定科目のうち、一つでも未修得であると各博物館実習を受講することはできませんので注意してください。

科 目 名	指定科目（実習を受講する前に単位修得が必要な科目）	指定科目数
博物館実習Ⅰ	生涯学習論、博物館概論、博物館経営論、博物館資料論	計4科目
博物館実習Ⅱ	博物館資料保存論、博物館展示論、博物館情報・メディア論、博物館教育論、博物館実習Ⅰ	計5科目
博物館実習Ⅲ	博物館実習Ⅱ	計1科目

### 4 各博物館実習の受講資格をいつまでに満たせばよいか

前掲「3 博物館実習の受講資格」で示したように、各博物館実習には、その受講前に単位修得が必要となる指定科目があります。

これらの科目は、各博物館実習の直前までに修得していればよいわけではなく、下表のとおり、それぞれ修得する期限が定められていますので注意してください。

#### 【各実習の受講資格充足期限】

科 目 名	受講する実習の時期	条件を満たすための期限
博物館実習Ⅰ	春期（3月）に受講	第4回科目修得試験の結果まで。
	夏期（8月）に受講	第1回科目修得試験／東京スクーリング（5月期） 第1期・2期結果まで。
博物館実習Ⅱ	春期（6月）に受講	第1回科目修得試験結果まで。
	秋期（11月）に受講	夏期スクーリング結果まで。
博物館実習Ⅲ	受講時4年生であり、博物館実習Ⅱに合格していること。	

### 5 博物館実習Ⅲについて

#### ① 館務実習先は、各自で確保

「博物館実習Ⅲ」における館務実習先については、大学では斡旋しておりません。したがって、館務実習を行う実習先は、各自で探し確保しなければなりません。

#### ② 館務実習先として認められる博物館とは

博物館での館務実習といつても「～博物館」という名称がつけばどこの博物館でもよいというわけではありません。館務実習先としての博物館は、原則として「博物館法」に定める「登録施設」又は「博物館に相当する施設」に限定されますので、実習先確保の際によく確認してください。

### ③ 実習先の受入れについて

受け入れ先の博物館によっては、「1大学1名」といったように、受け入れ枠を定めているところもあるため、必ずしも希望する博物館で実習を行うことができるとは限りません。

### ④ 博物館実習Ⅲの単位認定時期について

「博物館実習Ⅲ」の館務実習の日程は、実習先の博物館によって様々です。しかしながら、大学が「博物館実習Ⅲ」修了後の単位認定を行うのは、1年内で3月のみです。

したがって、各自の館務実習が終了したとしても、すぐには単位認定には至りませんので注意してください。そのため、10月1日から9月30日までを一つの年度とする「10月入学生（後期生）」は9月末までに実習を終えていても次年度の在籍（年度授業料の納入）が必要となります。

## 6 事前指導

この事前指導は、「博物館実習Ⅲ」受講における事前指導で、年1回実施しています。

博物館の理念や認識を深め、積極的に実習に臨んでもらうため実施します。

資格取得希望者は、博物館実習Ⅲの希望前年度に事前指導を受講してください。

平成28年度事前指導実施予定（平成29年度希望者）

①	実施（予定）	平成29年1月21日（土） 10：00～17：00
②	場所	日本大学通信教育部校舎（市ヶ谷キャンパス）及び本学周辺校舎を予定。
③	備考	午前中は実習先の選定について、午後は当該年度に博物館実習Ⅲを受講した学生の実習報告会を予定しています。 なお、事前指導受講の年度に、実習に派遣することはできませんので、注意してください。

## 7 受講手続

大学への各博物館実習の手続きは以下のとおりです。

科目名	受講する実習の時期	手續時期
博物館実習 I	春期（3月）に受講	受講前に、『部報』にて告知
	夏期（8月）に受講	『夏期スクーリングの手引』
博物館実習 II	春期（6月）に受講	3月の実習I終了後、4月頃個別に通知
	秋期（11月）に受講	8月の実習I終了後、9月頃個別に通知
博物館実習 III	7月～11月	次ページ IV-1 学芸員コース履修モデル参照 ①8月に実習Iを受講する場合 前年度12月頃個別に通知 ②3月に実習Iを受講する場合 前年度『部報』の「博物館実習I」申込み後に個別通知

# IV

## 学芸員資格取得までの流れ

### 1 学芸員コース履修モデル

各実習における受講条件の内訳は、前掲「III 博物館実習について」に掲げたとおりです。また、本学通信教育部入学後に2年～2年半で各実習を行うための理想的な履修モデルは以下のとおりですので、履修の参考にしてください。

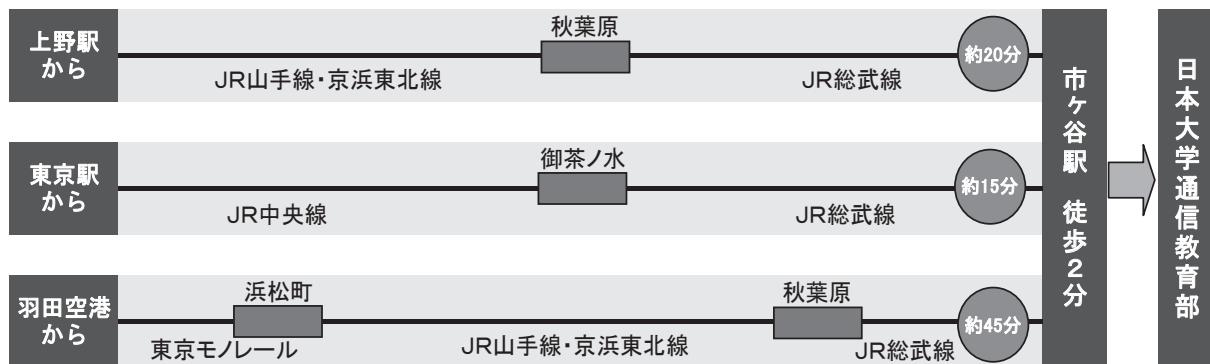
なお、以下の履修モデルには<選択必修科目（4科目16単位）>の履修計画を含んでいませんので、各自で履修計画を立ててください。



※上記の流れに則った場合は、2年以上の在籍が必要となります。

したがって、次年度の年度授業料納入が必要となりますので、注意してください。

## 【交通案内・校舎案内】



【所在地】 〒102-0085 東京都千代田区九段南 4-8-28



JR 中央・總武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩 2 分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩 1 分



DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY